

地域おこし協力隊奮闘記



田村市のみなさま、初めまして。6月に埼玉県川口市から移住してまいりました及川光幸と申します。私は就農型地域おこし協力隊として、卒業後に市内で独立就農することを目指して活動しています。

前職は製造業に就いておりましたが、農業や田舎暮らしへの憧れから移住を決意し、田村市主催の農業体験やオンラインイベントへの参加を経て、この地で挑戦することを選びました。現在は福島県の認定研修農家さ

みつちークエスト〜独立就農への道〜

んの下で、農機具の扱い方や作物管理、季節ごとの作業を学んでいます。

初めてのことがばかりですが、ご指導をいただきながら少しずつ技術と知識を身につけ、農業の奥深さを日々実感しています。また、田村市での暮らしにも徐々に慣れ、自然の中で地域の方々と関わりながら生活する毎日大きな充実感を感じています。

5年後にはピーマン農家として安定した生計を立てられるようになることを目標に、農業や田舎暮らしに憧れる方々の希望となれるよう努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。



海を越えて 英語指導助手 ペンリレー No. 147

アメリカのすばらしい祭り、ハロウィーン



ローラ・フィシャーさん
アメリカ合衆国・フロリダ州出身
(田村市に来て1年目)

浴衣、お菓子、通りに集まる人々、あちこちで起こる笑い声、子ども向けのゲーム、そしてすばらしい思い出。これらは日本の夏の祭りで見ることが出来る光景ですが、10月のハロウィーンの時期に行われるアメリカの収穫祭にも同じ光景が見られます。

今年の夏、私は日本の夏の祭りに参加するのが大好きだと感じました。子どもの頃を振り返ると、地元の教会が開催した収穫パーティーを思い出します。教会の収穫パーティーは、日本の夏の祭りと同じ特徴があります。

アメリカにはハロウィーンという祝日があります。ハロウィーンにアメリカの子供たちは、キャラクターをテーマにした仮装や、ほかにもいろいろな奇抜な仮装をします。子どもの頃、私はいつも妖精やお姫様、あるいはバレリーナの仮装をしました。ハロウィーン



を祝うために、私の教会では地域住民のために収穫祭を開催していました。教会の中にはいろいろなゲームブースが設けられ、子どもたちはゲームをすると賞品がもらえました。いつもゲームがとても楽しかったのを今でも覚えています。教会の外には、かき氷、ホットドッグ、ハンバーガー、チップス、飲み物など様々な食べ物が用意されていました。また、地元の農夫にお願いして子どもたちを馬に乗せてもらったり、子どもたちが跳ね回って楽しめるバウンスハウスもありました。

アメリカのハロウィーンには楽しい思い出があります。アメリカの収穫祭と日本の夏の祭りの違いを知ることは楽しいです。今年の夏、日本の祭りに参加して、子どもの頃に帰ったような気持ちになりました。浴衣、お菓子、通りに集まる人々、あちこちで起こる笑い声、子ども向けのゲーム、そしてすばらしい思い出は、私の心の特別な場所到现在までも残ります。

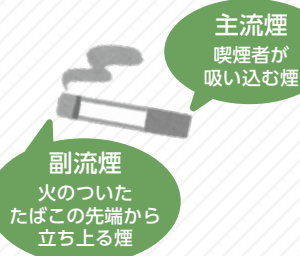
げんき アップ 通信

No.17

その煙、周りの大切な人を傷つけていませんか？

たばこを吸わない人が、周囲のたばこの煙を吸ってしまうことを「受動喫煙」と言います。

「副流煙」には主流煙より数倍も多く、有害物質が含まれており、肺がんや心臓病、脳卒中など重大な病気のリスクを高めます。



配慮すべきポイント

- ①市の施設の敷地内や歩道では喫煙しない
- ②子どもや妊婦、病気を抱えた方など、特に影響を受けやすい人の近くでは喫煙を控える
- ③歩きタバコや、タバコのポイ捨てはしない
- ④喫煙してもよいが、周囲の人に一言確認する

一人ひとりの心がけが、みんなの健康を守ります。
喫煙マナーを守り、気持ちのよい環境づくりにご協力ください。

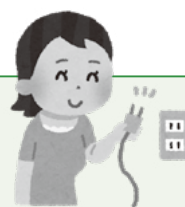


問保健福祉部 保健課 ☎81-2271

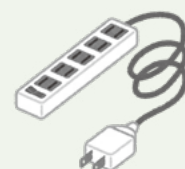
ちょこっと

エコライフ ~身近な省エネを実践しよう!~

vol.26 待機電力ゼロ生活、始めませんか？



みなさんは「待機電力」という言葉をご存じでしょうか？これは、電化製品がオフになっているにも関わらず消費される電力のことです。たとえば、テレビやエアコンなどは、電源を切っても、リモコンの信号を受けるために常に少量の電力を使い続けています。つまり、電化製品を使っていないのに電気代がかかっている状態です。



待機電力は家庭の年間消費電力量の約5%を占めると言われています。福島県の平均的な世帯では、約291kWhが待機電力と推計され、金額に換算すると約7,350円分になります。特に待機電力が大きい家電は、ガス温水器、テレビ、エアコンなどです。一つひとつの待機電力は微々たるものですが、積み重なると大きな量になります。

待機電力を減らすには使用しない時に主電源を切ったり、プラグをコンセントから抜けばよいのですが、プラグを抜き差しせずに電源のオンオフができる節電タップがお勧めです。ただし、常時通電が必要な家電や、プラグを抜くことで故障の原因になったり利便性が低下するものもあるので注意しましょう。生活に合わせて必要のない時だけ節電タップで電源を切るのがポイントです。最近では、タイマー機能付きのスマートプラグといった便利なアイテムも登場しています。外出中や就寝時に自動で電源をオフにできるので消し忘れを防げます。まずは、できることから始めてみませんか？

(獨協大学国際環境経済学科3年 広瀬・総合政策学科1年 井原)

待機電力の消費電力量の推計根拠や、待機電力を減らすコツはこちらから▶



今月のごみ量 (7月分)

- 1日1人あたりのごみの量：882g
- 田村市のごみの量の目標：750g
- 目標達成まであと132g減！ ※6月のごみの量と比べて、44g増！

